

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年3月10日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムでの展開が決定
2. さあ！キミも「1日山大生」になってみませんか？
3. 山形県信用保証協会と山形大学が企業支援協定を締結
4. 山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与式について

お 知 ら せ

1. 「人文学部附属映像文化研究所」主催イベントの開催
2. 公開講演会「地上絵とミイラ」を開催
3. 有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2015 を開催
4. 山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成27年3月24日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

プレス発表資料

平成27年3月10日
山形大学

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムでの展開が決定 「フロンティア有機システムイノベーション拠点」（中核機関：山形大学）

文部科学省と独立行政法人科学技術振興機構（JST）が推進するセンター・オブ・イノベーション（COI）プログラムにおいて「フロンティア有機システムイノベーション拠点」（中核機関：山形大学）が、COI拠点として展開されることに決定しました。

本拠点では、未来の健康で感性豊かな生活・社会の実現を目指し、参画機関との共同研究体制の下、塗布型デバイス、有機EL、有機トランジスタ・集積回路、生体親和性材料、有機生体センサ及び、それらを用いたシステムの実用化に向けた研究開発を行います。

本プロジェクトは、COI-T(トライアル)課題「個人ニーズ未来ものづくりで健康・感性文化豊かな生活を目指すフロンティア有機システムイノベーション拠点」（平成25年11月～平成27年3月、中核機関：山形大学）の活動成果がトライアル評価を経て認められたものです。

<COI拠点概略>

拠点名	フロンティア有機システムイノベーション拠点
プロジェクトリーダー	三宅 徹（大日本印刷株式会社）
研究リーダー	大場 好弘（山形大学理事・副学長）
中核機関	山形大学
参画機関 (19社 3機関) (平成26年度)	大日本印刷(株)、積水ハウス(株)、NECライティング(株)、パナソニック(株)、コニカミノルタ(株)、日本ゼオン(株)、(株)カネカ、三菱重工業(株)、Lumiotec(株)、(株)KEN OKUYAMA DESIGN、東レエンジニアリング(株)、JSR(株)、横河電機(株)、サトーホールディングス(株)、DIC(株)、大塚化学(株)、(株)パイオラックスメディカルデバイス、住友ゴム工業(株)、日本電気(株)、東北芸術工科大学、仙台高等専門学校、(独)産業技術総合研究所
研究期間 (COI)	平成27年度～平成33年度（最長）

拠点概要： 未来の心豊かで快適・健康なライフスタイル（生活）と社会を創造することを目標に、人と環境に優しい有機材料技術を基盤とし、デザイン思考やICTが融合した革新的なデバイスやシステムの構築及び実用化を目指す。主要な研究開発テーマは以下の通り。

1. アンビエント快適空間創造（有機EL、塗布型デバイス、スマート未来ハウス）
2. 健康長寿自立ヘルスケア（有機生体センサ、有機RFID、生体親和性材料）
3. 未来ものづくり（印刷プロセス）
4. 有機ICT・デザイン・システム（ビッグデータ複合解析）

（お問い合わせ）山形大学工学部 学部長特別補佐 高橋辰宏
 電話：0238（26）3585
 （携帯電話：090-7339-4650）
 E-mail: effort@yz.yamagata-u.ac.jp

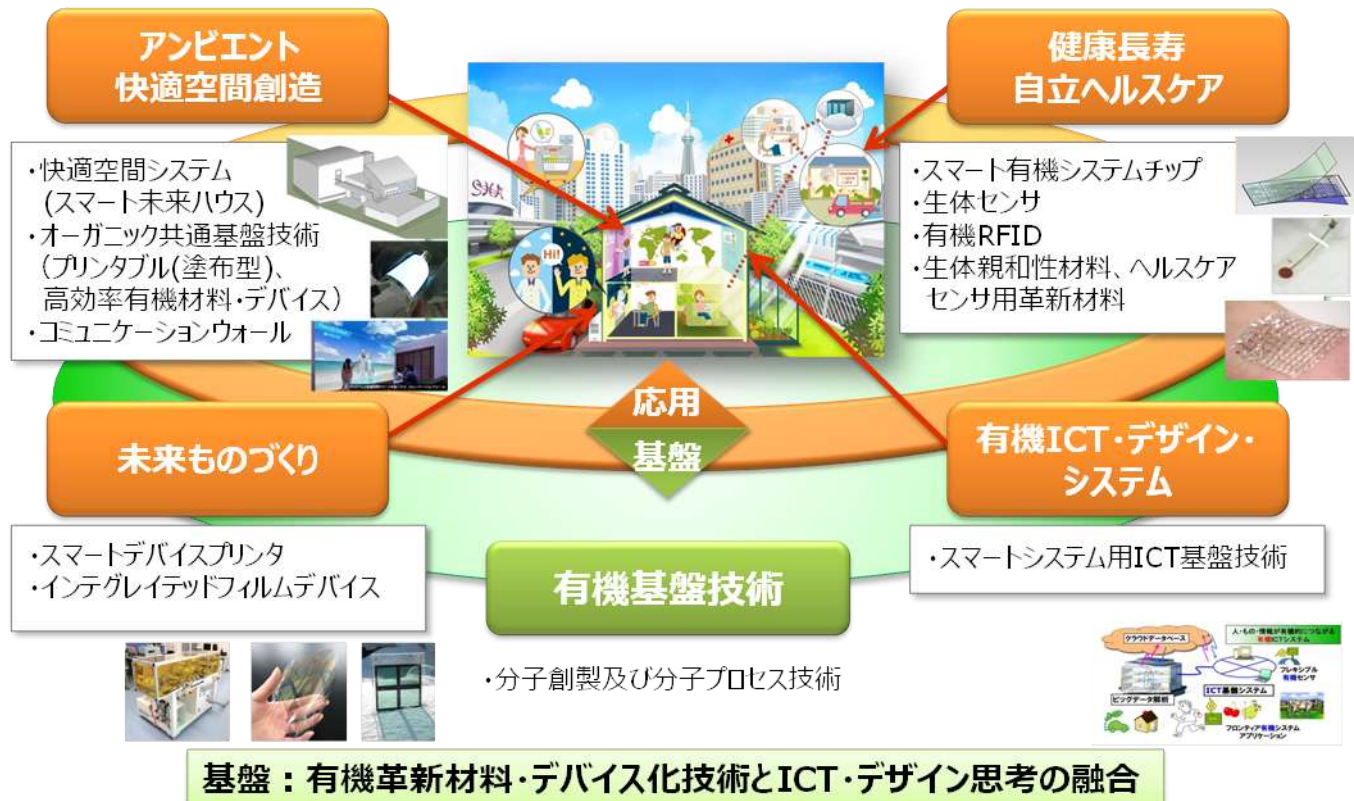
参考資料

1. 研究成果展開事業センター・オブ・イノベーションプログラムにおけるトライアル課題の評価結果について
(独)科学技術振興機構 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム ホームページ
http://www.jst.go.jp/coi/hyoka/trial_h26.html

2. フロンティア有機システムイノベーション拠点の研究開発テーマ

フロンティア有機システムイノベーション拠点 研究開発テーマ

新しい暮らし方、働き方、健康、高いQOLを可能とするシステムの提案、実現



以上

山形大学

有機材料システム研究推進本部 発足について



2015年3月10日

大場 好弘（山形大学理事・副学長）

有機材料分野の研究拠点化への取組み



山形大学有機材料システム
フロンティアセンター開所(予定)

◆参画機関との連携、異分野融合
(関係スタッフ+参画機関:~250人(予定))

2015年

COI拠点採択

山形大学有機エレクトロニクス
イノベーションセンター(INOEL)開所

◆スーパーイノベーター結集
(ROEL+INOEL:~150人)

2013年

国際科学イノベーション拠点
整備事業採択

地域イノベーション戦略推進地域
(国際競争力強化地域)選定

山形大学有機エレクトロニクス
研究センター(ROEL)開所

◆卓越研究者結集
(スタッフ:~50人)

2011年

JST地域卓越研究者戦略的結集プログラム開始

2009年



有機材料分野の研究施設(山形大学)

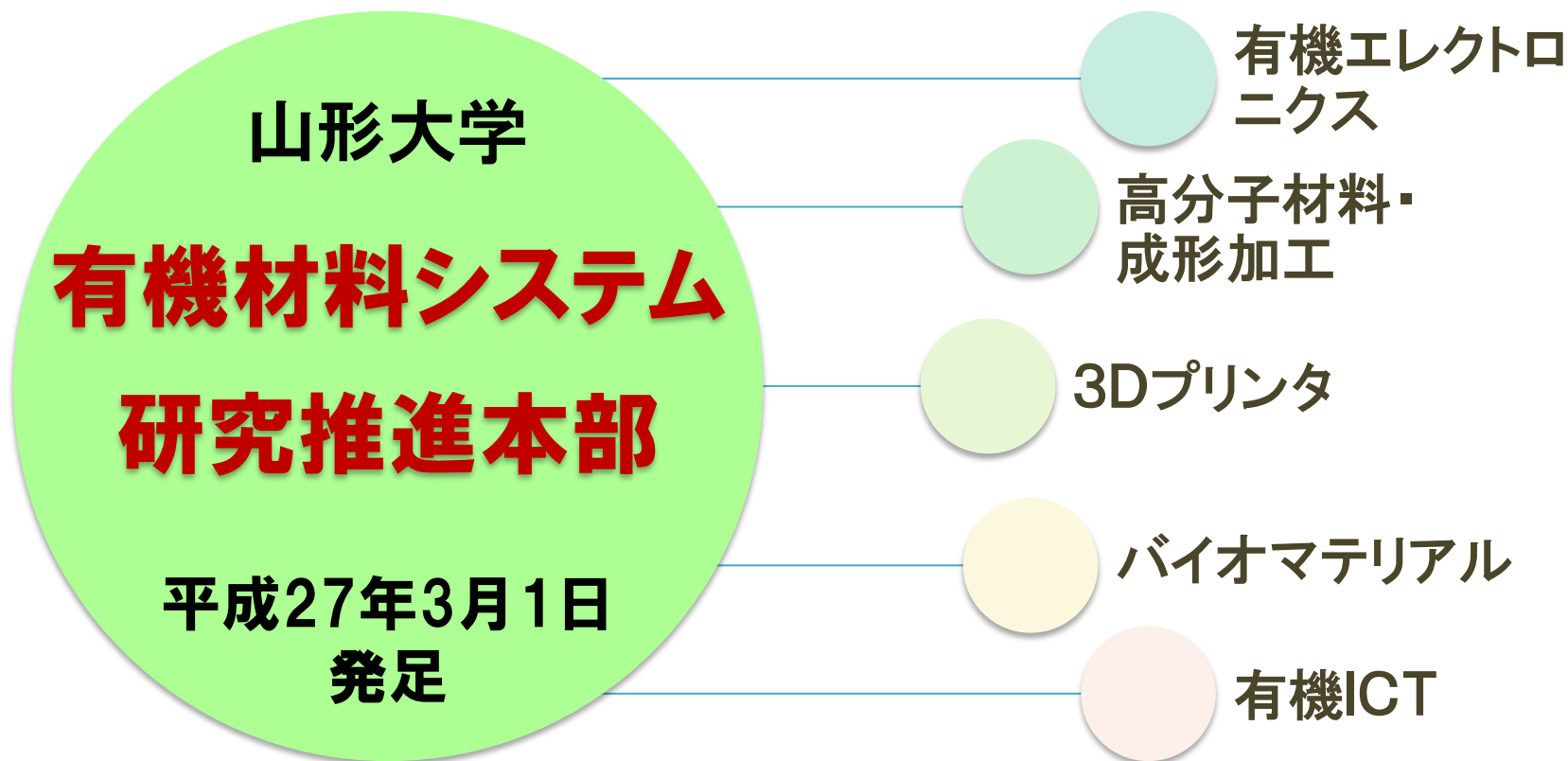
6施設 8センター



有機材料システム研究推進本部の設置

新組織設置の狙い

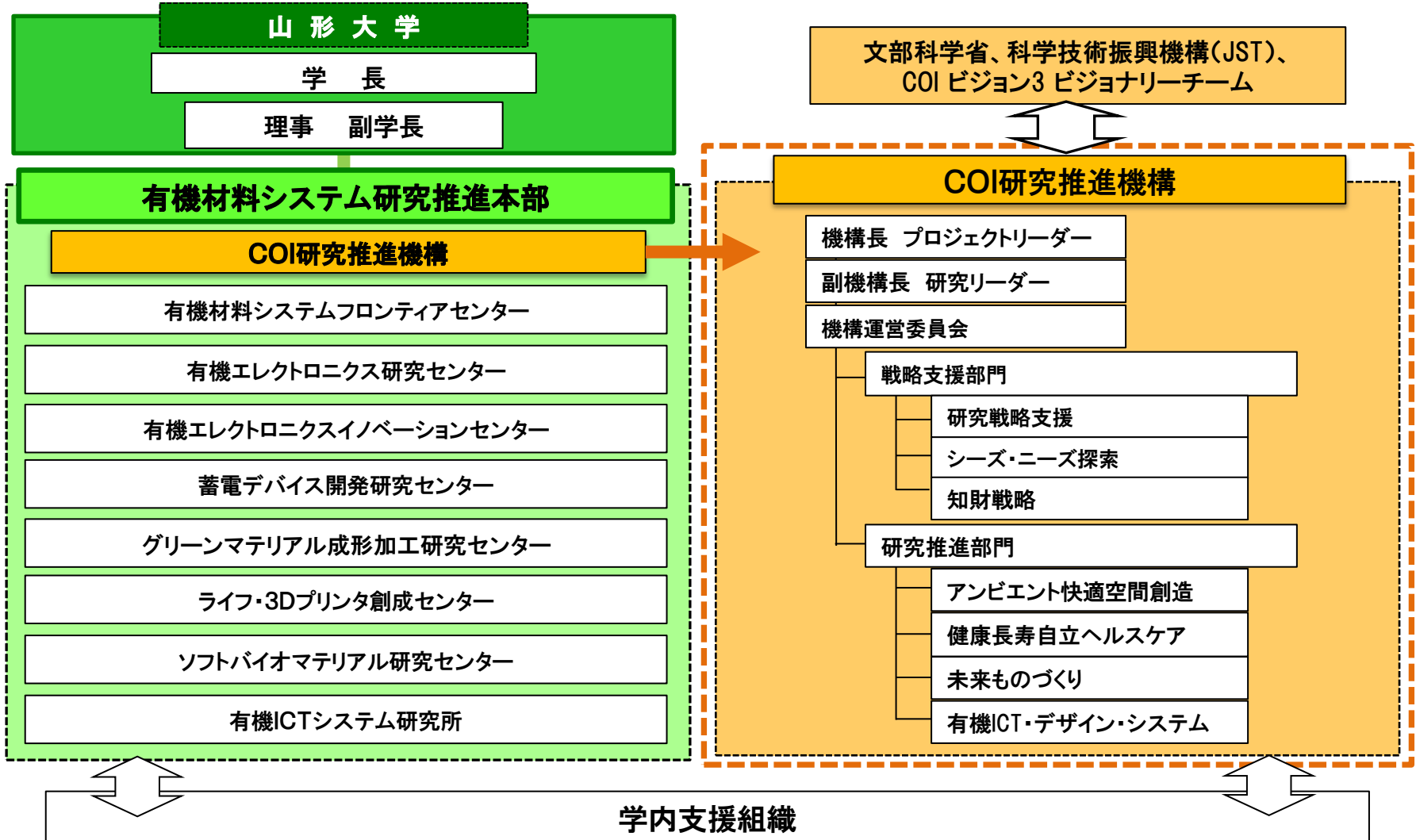
1. 有機材料・デバイス分野で世界No. 1を目指す
2. 新分野「有機材料システム」(融合領域)の開拓
3. COIプログラムの効率的推進、優秀な人材の確保



組織構成

山形大学 有機材料システム研究推進本部

迅速な意思決定と強力な支援が可能な組織体制を構築



(参考) 山形大学のランキング

科学研究費補助金の研究分野別ランキング:

(過去5年の新規採択の累計数)

デバイス関連化学分野 1位

5404 デバイス関連化学

順位	機関名	新規採択累計数
★ 1	山形大学	14.0
2	千葉大学	13.5
3	産業技術総合研究所	13.0
4	東京大学	11.5
5	東京工業大学	11.0
6	北海道大学	10.5
7	東北大学	9.5
7	京都大学	9.5
9	九州大学	9.0
10	大阪大学	7.5

文部科学省

「平成26年度科研費(補助金分・基金分)の配分について」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1352401.htm

材料科学分野 大学ランキング 5位

順位	大学名	平均被引用数	高被引用論文数
1	東京大学	50.91	34
2	東北大学	56.76	21
3	京都大学	56.57	14
3	大阪大学	54.71	14
★ 5	山形大学	49.00	13

大学ランキング2013年度版(朝日大学出版)

民間からの受託研究費受入額 5位

順位	大学名	受入額
1	京都大学	657.865
2	慶應義塾大学	620.059
3	早稲田大学	538.288
4	東京大学	488.080
★ 5	山形大学	300.348

文部科学省

(単位:千円)

平成25年度大学等における産学連携等実施状況 6

COIとは

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラムの概要

別添4

プロジェクトのねらい

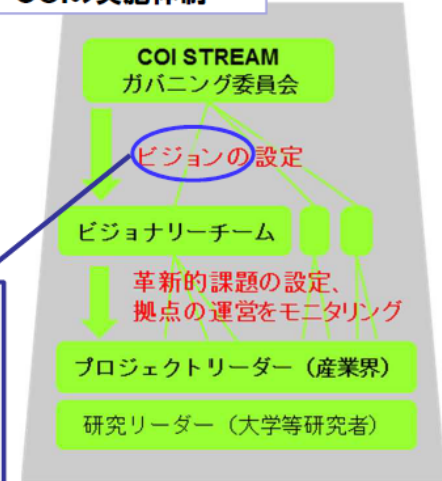
10年後、どのように「人が変わるべき」か、「社会が変わるべき」か、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の**チャレンジング・ハイリスク**な研究開発を行う。国がリスクをとって、革新的であり、技術的成立が困難であるが、社会的・経済的インパクトが大きい革新的研究開発の成果と、規制改革やリスクマネー等を合わせて**革新的なイノベーションを実現**させる。

本事業のポイント

【ビジョン主導型の研究開発】

- ◆ 現在潜在している将来社会のニーズから導き出されるあるべき社会の姿、暮らしのあり方を設定し、このビジョンを基に10年後を見通した革新的な研究開発課題を特定。
- ◆ 高度専門チームによるプロジェクト運営等により、既存の概念を打破し、基礎研究段階から実用化を目指した産学連携によるアンダーワンループでの研究開発を集中的に支援。

COIの実施体制



<Function>

ビジョン1	(Medical health, Mental health, Motivation, Sports, Food, Ties)⇒	Happinessの実現
ビジョン2	(勤 ing thinking, Active thinking, Serendipity, Six senses) ⇒	革新的思考方法
ビジョン3	(Personalization, Resilience, Sustainability, Functionalization, Flexibility) - Waste	数世紀まちづくり

(COI拠点への支援内容)

- 期間：最長9年度
- 拠点の研究開発費（JSTからの委託費）：拠点当たり年間最大10億円程度
- 拠点運営のための経費（文科省からの補助金）：拠点当たり年間1億円程度を予定

COI採択機関

COI STREAM ビジョン	平成25年度採択 (中核機関のうち大学名等)	平成27年度採択 (中核機関の大学名)
ビジョン1	<ul style="list-style-type: none"> ・東北大学 ・京都大学 ・川崎市産業振興財団 ・東京大学 ・弘前大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学 ・立命館大学
ビジョン2	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学 ・大阪大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京藝術大学 ・東京工業大学
ビジョン3	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢工業大学 ・名古屋大学 ・信州大学 ・九州大学 ・東京大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・山形大学 ・慶應義塾大学
合計	<p>12 拠点 (その他 各拠点のサテライト 11、 トライアル課題 14、A-STEP型 2)</p>	<p>6拠点</p>

※ 山形大学は上記平成27年度採択の中核機関(研究リーダー:大場好弘教授)として参加の他、慶應義塾大学のテーマにもサテライト機関として参加(山形大学研究リーダー:古川英光教授)

**地方創生と世界No.1を目指す
イノベーションの山形モデル発進**

**センター・オブ・イノベーション(COI)
プログラム開始について**

2015年3月10日

**山形大学大学院理工学研究科
卓越研究教授 城戸 淳二**

COI拠点採択までの経緯

文部科学省 革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)
(独)科学技術振興機構(JST) センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

社会課題からの
バックキャスティング

COI-T
(トライアル)
課題採択

コア技術の検証
出口戦略の明確化

(平成25年11月～
平成27年3月)

トライアル
評価

COI拠点としての
展開が決定

(平成27年2月)

COI
「フロンティア
有機システム
イノベーション拠点」

中核機関
【山形大学】

19社、3機関(+α)
が参画

(平成27年4月～
平成33年度(最長))

COI拠点の概要

拠点名	フロンティア有機システムイノベーション拠点
プロジェクトリーダー	三宅 徹（大日本印刷株式会社）
研究リーダー	大場 好弘（山形大学理事・副学長）
中核機関	山形大学
参画機関 (COI-T参画機関) (19社 3機関)	大日本印刷(株)、積水ハウス(株)、NECライティング(株)、パナソニック(株)、コニカミノルタ(株)、日本ゼオン(株)、(株)カネカ、三菱重工業(株)、Lumiotec(株)、(株)KEN OKUYAMA DESIGN、東レエンジニアリング(株)、JSR(株)、横河電機(株)、サトーホールディングス(株)、DIC(株)、大塚化学(株)、(株)パイオラックスメディカルデバイス、住友ゴム工業(株)、日本電気(株)、東北芸術工科大学、仙台高等専門学校、(独)産業技術総合研究所
研究期間	平成27年度～平成33年度(最長)

目指す未来社会のイメージ

<http://yucoi.yz.yamagata-u.ac.jp/>



COI拠点 研究開発テーマ

新しい暮らし方、働き方、健康、高いQOLを可能とするシステムの提案、実現

アンビエント 快適空間創造

- ・快適空間システム (スマート未来ハウス)
- ・オーガニック共通基盤技術 (プリンタブル(塗布型)、高効率有機材料・デバイス)
- ・コミュニケーションウォール



健康長寿 自立ヘルスケア

- ・スマート有機システムチップ
- ・生体センサ
- ・有機RFID
- ・生体親和性材料、ヘルスケアセンサ用革新材料



応用
基盤

未来ものづくり

- ・スマートデバイスプリンタ
- ・インテグレイテッドフィルムデバイス



有機ICT・デザイン・システム

- ・スマートシステム用ICT基盤技術

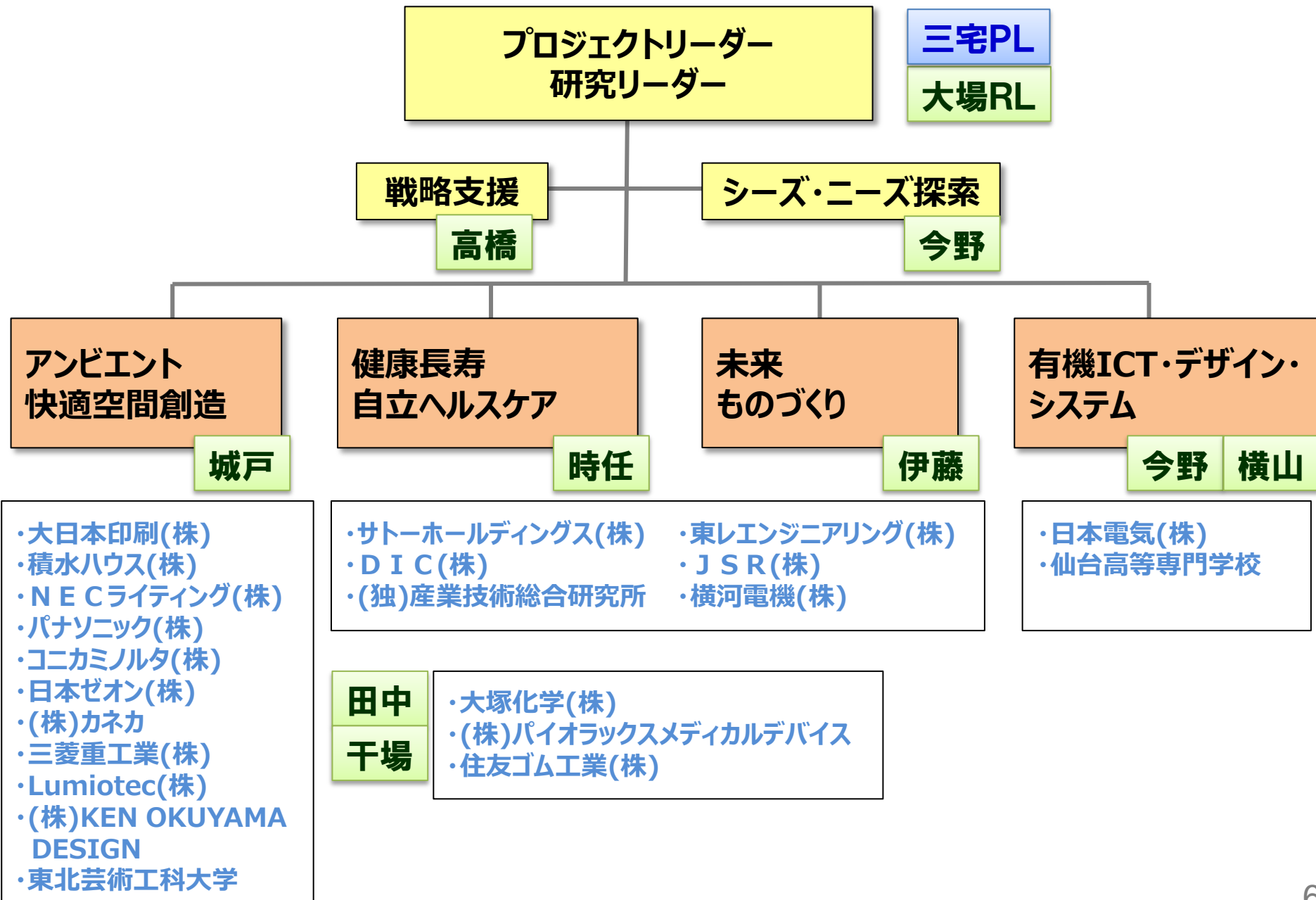
有機基盤技術

- ・分子創製及び分子プロセス技術



基盤：有機革新材料・デバイス化技術とICT・デザイン思考の融合

COI拠点 推進体制



実証研究施設

米沢市内近郊図



米沢オフィスアルカディア内詳細図



応用・実証

**山形大学
スマート未来ハウス**

米沢キャンパス内詳細図



**有機材料システム
フロンティアセンター**

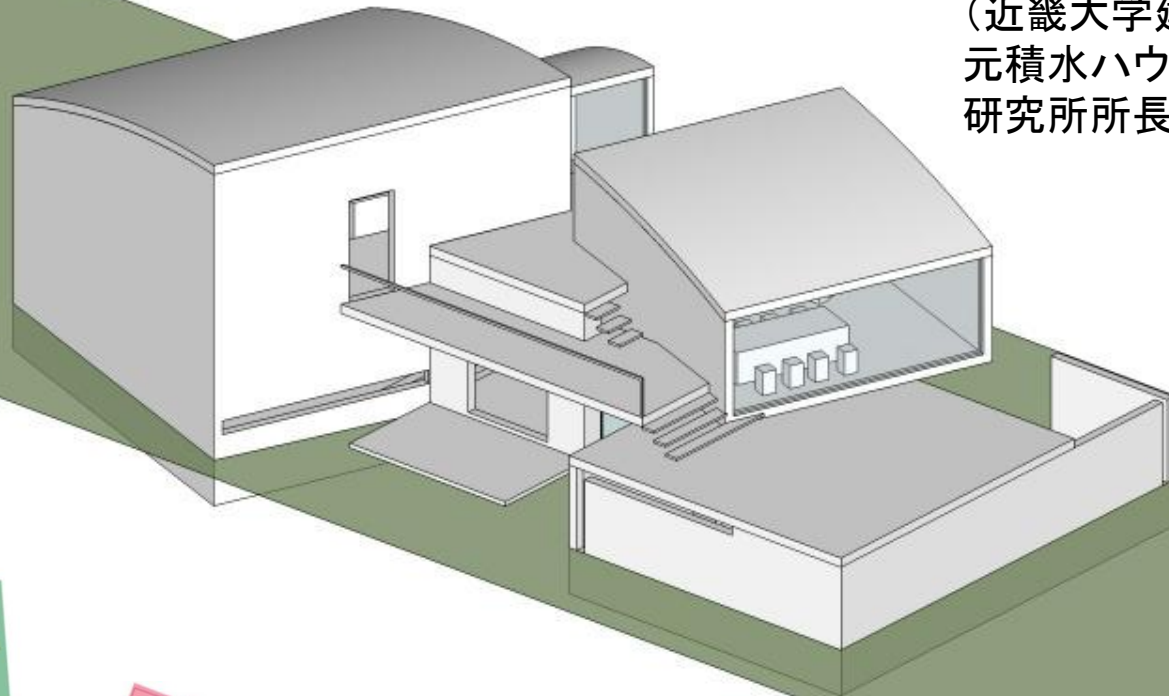
融合・革新

山形大学スマート未来ハウス

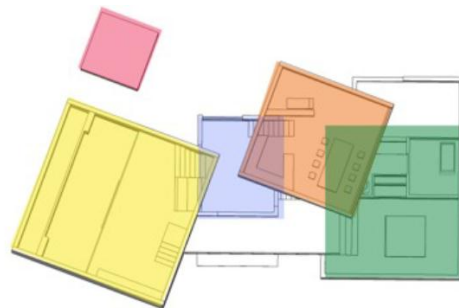
(建設中)

基本構想協力(第一案):
KEN OKUYAMA DESIGN

基本設計: 木村文雄
(近畿大学建築学部教授、
元積水ハウス総合住宅
研究所所長)



OLED Panels



Building Design Concept

山形大学スマート未来ハウス

- ・天井や壁が壁紙ディスプレイ
- ・超臨場感の空間ー社会の窓化
- ・空間を超えたコミュニケーション
- ・サーカディアンリズムにあわせた照明空間
- ・フレキシブルモバイルソーラー技術
- ・健康モニタリング



照明とディスプレイ、コミュニケーションツールの融合



平成27年3月10日
山形大学

さあ！キミも「一日山大生」になってみませんか？

山形大学附属博物館を活用した中学生向けの体験学習プログラム「一日山大生になろう！第3弾 3Dプリンターを体験しよう・山形 むかしと今」を開催します。

◆概要

本事業は、大学に蓄積された学術研究成果および研究環境を活用し、多様化するカリキュラムに対応した新たな学習プログラムの開発を目指すものです。

今年度で3回目の実施となり、今回も、将来の職業観および進路観を育むうえで重要な時期といえる中学生を対象として、体験学習プログラムを実施します。普段見ることのない大学内の研究活動に触れていただき、また、地域社会に開かれている大学博物館の持つリソースとノウハウを活用した体験学習を通して、将来の学びについて考えるきっかけを作ることを目的としています。

◆実施概要

日時：3月23日（月） 10：00～15：00

対象：山形市内在住中学生

定員：10名（事前申込・先着順）

体験内容：理系体験「3Dプリンターを体験しよう」

山形大学附属博物館の資料を撮影して3Dプリンターで出力します。普段は触れることのできない資料を触って確かめてみましょう。

文系体験「山形 むかしと今」

明治の初め頃の山形の風景を写した写真と絵が山形大学附属博物館にあります。それと現在の風景とを比べて、山形がどのように発展してきたのかを調べてみましょう。

その他、入学式・修了式、学食体験なども予定しています。

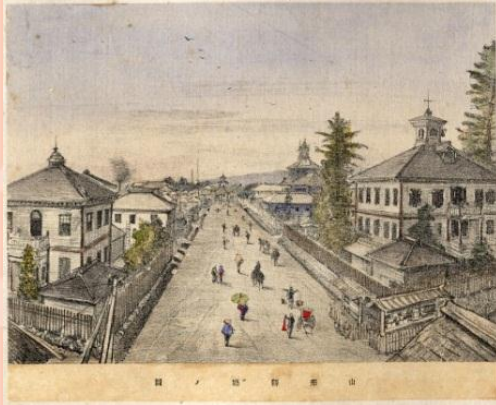
（お問合せ先）

エンロールメント・マネジメント部社会連携課

電話：023-628-4016



3Dプリンターを体験しよう！



「三島県令道路改修記念画帖」
(山形大学附属博物館蔵)







「明治14年撮影の山形市街」
(山形大学附属博物館蔵)

2015年

山形 むかしと今

3月23日(月) 10:00～15:00

-  参加費：無料
-  対象：山形市内中学生
-  定員：10名(事前申込・先着順)
-  場所：山形大学小白川キャンパス附属博物館

～プログラム～

- 9:30 受付開始(集合場所：山形大学附属博物館)
- 10:00 入学式
- 10:30 理系体験「3Dプリンターを体験しよう」
- 12:00 学食体験
(昼食代は各自でご負担下さい。持参弁当も可)
- 13:00 文系体験「山形 むかしと今」
- 14:30 修了式

主催 / 山形大学附属博物館

一日山大生になろう！

中学生
対象

理系体験担当教員



八木 浩司
(地表・地形災害)

3Dプリンターを
体験しよう！

山形大学附属博物館の
資料を撮影して3Dプリン
ターで出力します。

普段は触れることので
きない資料を触って確か
めてみましょう！

文系体験担当教員



山本 陽史
(日本文学)

山形 むかしと今

山形大学附属博物館が
所蔵する明治初め頃の山
形の風景を写した写真や
絵と現在の風景とを比べ
て、山形がどのように発
展してきたのかを調べて
みましょう！

保護者・先生方へのご案内

本事業は、大学に蓄積された研究成果および研究環境を活用し、多様化するカリキュラムに対応した新たな学習プログラムの開発を目指すものです。

今回は、将来の職業観および進路観を育むうえで重要な時期と言える中学生を対象とし、普段見ることのできない大学内の研究活動に多々触れていただきたいと思います。理系・人文系両方のワークショップを体験することにより、高等教育の広さと深さを体感し、自分の適性を確認するとともに将来の学びについて考えるきっかけとなりましたら幸いです。

《コーディネーター教員》



佐藤 琴
(博物館学・日本美術史)

申込方法

メールまたはFAXで必要事項を記入のうえ、
右記申込先までお寄せください。

※お電話でのお申込みも受付ます。

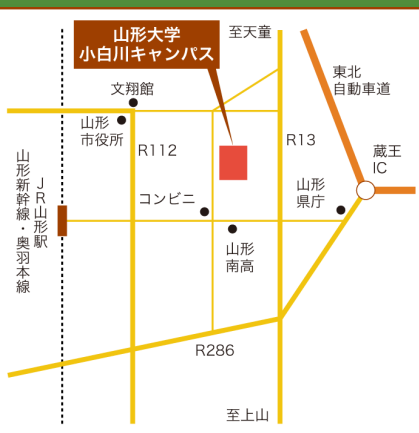
【必要事項】

氏名、ふりがな、所属中学校・学年、連絡先電話番号、
メールアドレスまたはFAX番号

申込・お問合せ先

国立大学法人 山形大学
インフォメーション・マネジメント部社会連携課

- ◆TEL : 023-628-4016
- ◆FAX : 023-628-4491
- ◆e-mail : embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学小白川キャンパス アクセス

【自家用車】

JR山形駅から県庁方面、
山形南高等学校の十字路を左折。
右手にキャンパスがあります。

【路線バス】

JR山形駅前より〔県庁方面行き〕
南高前バス停下車5分。

山形大学附属博物館 からのお知らせ

平日 9:00～17:00開館中
小白川図書館の3階にあります。
どなたでも入館できます。
入館無料です。

平成27年3月10日

山形大学

山形県信用保証協会と山形大学が企業支援協定を締結 ～専門家派遣による地域企業支援協定で地域活性化を強化～

山形県信用保証協会と山形大学は互いに連携し、地域企業が抱える経営及び技術上の課題解決を図るための協定を締結することとなりました。山形大学「学金連携プラットフォーム」を通じて山形大学等の専門家を派遣し、地域経済の発展に貢献します。

この度、山形県信用保証協会と山形大学は、互いに連携し、山形大学学金連携プラットフォームの活動*を通じて、地域企業が抱える経営及び技術上の課題解決を図るため協定を締結いたします。

事業者が金融機関から資金を調達する際の保証を目的とする信用保証協会が、大学と連携してこのような企業支援に乗り出すのは全国でも初の試みとなります。

本協定の協定書調印式を次のとおり執り行いますので、お知らせします。

■■■ 山形県信用保証協会と山形大学の協定調印式のお知らせ ■■■

1. 日 時：平成27年3月10日（火）13時00分～13時20分
2. 場 所：山形大学小白川キャンパス 事務局棟3F 役員会議室
3. 協定調印：山形県信用保証協会理事長 横澤 正昭

山形大学長

小山 清人

（お問合せ先）

山形大学国際事業化研究センター

副センター長 小野 浩幸

事務担当 齋藤 祐輔

TEL：0238 - 26 - 3480

*山形大学学金連携プラットフォームは、山形大学と県内全ての金融機関（3行、4金庫、3組合、2政策金融機関）が連携し地域企業を支援する活動を続けている任意組織。

山形県信用保証協会と山形大学の連携

平成27年3月

【ポイント】

- 保証協会と山形大学が、お互いのノウハウを活かし、連携・共同して企業支援します。
- イノベーション・技術革新等の経営課題に対し、総合的に支援します。
- 山形大学との連携強化のために、山形大学のオフィスに保証協会企業支援部「出張窓口」を設けます。

中小企業

専門家

- 山形大学 教授等
- 学金連携プラットフォーム専門家

専門家と共にチームで支援

保証協会

山形大学

連携協定の締結

出張
窓口

県内 金融機関 (山形大学認定「産学金連携コーディネーター」)

従来からの支援
パートナー

山形県企業
振興公社

山形県中小企
業診断協会

平成27年3月10日
山形大学

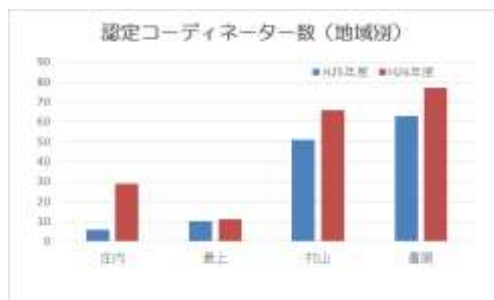
山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与式について ～金融マンコーディネーター大幅増、活躍に期待～

山形大学では、金融機関職員を対象とし目利き人材育成のための実践型研修カリキュラム「産学金連携コーディネーター研修」を実施し、認定条件を満たした受講者を「産学金連携コーディネーター」として認定しています。この度、新たに53名の新規コーディネーター、11名のシニアコーディネーターが誕生しました。

山形大学では、平成19年より金融機関職員を対象とした「産学金連携コーディネーター研修」を実施しています。認定条件を満たした認定コーディネーターは、各金融機関において日々地域企業支援活動を行っています。

今年度は63名が受講し、これまでで最大の53名の認定コーディネーターが誕生します。

今回、新たに商工中金が加わったことで、県内全ての金融機関（※3行、4金庫、3組合、2政策金融機関）による国内最大級の計183名のコーディネーター体制が構築されることとなります。産学金連携のさらなる強化と、一層の地域イノベーション創出を図っていきます。



また、既に認定を受けているコーディネーターを対象に、「スキルアップ研修」を5ヶ月間に亘り開催し、本受講者の中から一定の認定条件を満たした11名を新たに「シニアコーディネーター」として認定します。

これら認定者に対する認定書授与式を次のとおり執り行いますので、お知らせします。

■■■ 平成26年度「産学金連携コーディネーター」認定証授与式のお知らせ ■■■

1. 日時：平成27年3月10日（火）14時00分～15時00分
2. 場所：山形大学小白川キャンパス 事務局棟3F 第一会議室
3. 認定証授与者：
 - ・新規認定者53名、シニアコーディネーター認定者11名、更新認定者97名
(計183名)
4. 授与式の概要：裏面次第のとおり

※北郡信用組合、きらやか銀行、商工中金、荘内銀行、新庄信用金庫、鶴岡信用金庫、日本政策金融公庫、山形銀行、山形信用金庫、山形第一信用組合、山形中央信用組合、米沢信用金庫、（50音順）

（お問合せ先）
山形大学国際事業化研究センター
（山形大学工学部米沢街中サテライト）
副センター長 小野 浩幸
事務局 鈴木、高屋、武田、浦安
Tel：0238-26-0764

山形大学認定「産学金連携コーディネーター」 平成26年度 認定証授与式 次第

1. 日 時：平成27年3月10日（火） 14時00分～15時00分
2. 場 所：山形大学小白川キャンパス 事務局3階第一会議室
3. 式次第：
 - ・ 14：00 開会の挨拶 山形大学学長 小山 清人
 - ・ 14：05 認定証・修了証授与（新規認定者）
修了証授与（山形県信用保証協会2名）
 - ・ 14：40 認定証・修了証授与（シニアコーディネータ認定者）
 - ・ 14：45 認定証授与（認定更新者：各金融機関代表1名）
 - ・ 15：00 認定者・修了者写真撮影

以上

山形大学認定産学金連携コーディネータ制度

<概要>

- 目的：県内すべての地域金融機関を対象とし、中小企業を取り巻く「経営」「事業」「技術」「市場」の全体を把握分析する実践的スキル向上を図る。
- 内容：山形大学独自の教材による基礎的知識の習得に加え、地域企業の協力のもと事業現場に赴き課題の分析と課題克服に向けたソリューション提案までを行う「PBL；Project Based Learning」方式による研修制度
- 特徴：認定制度・年度毎の更新制度

コーディネータエキスパート

実務経験5年以上
基準以上の実績

シニアコーディネータ

H23～H26の認定者数 **計44名**
(H26年度更新者 42名)
H23:10名 H24:10名 H25:13名
H26:11名



産学金連携コーディネータ

H19～H26の認定者数 **計227名**
(H26年度更新者 183名)
H19:22名 H20:23名 H21:43名 H22:29名
H23:13名 H24:10名 H25:34名 H26:53名



スキルアップ研修
H23～H26の受講者数
計57名

H23:11名 H24:11名
H25:19名 H26:16名

産学金コーディネータ認定

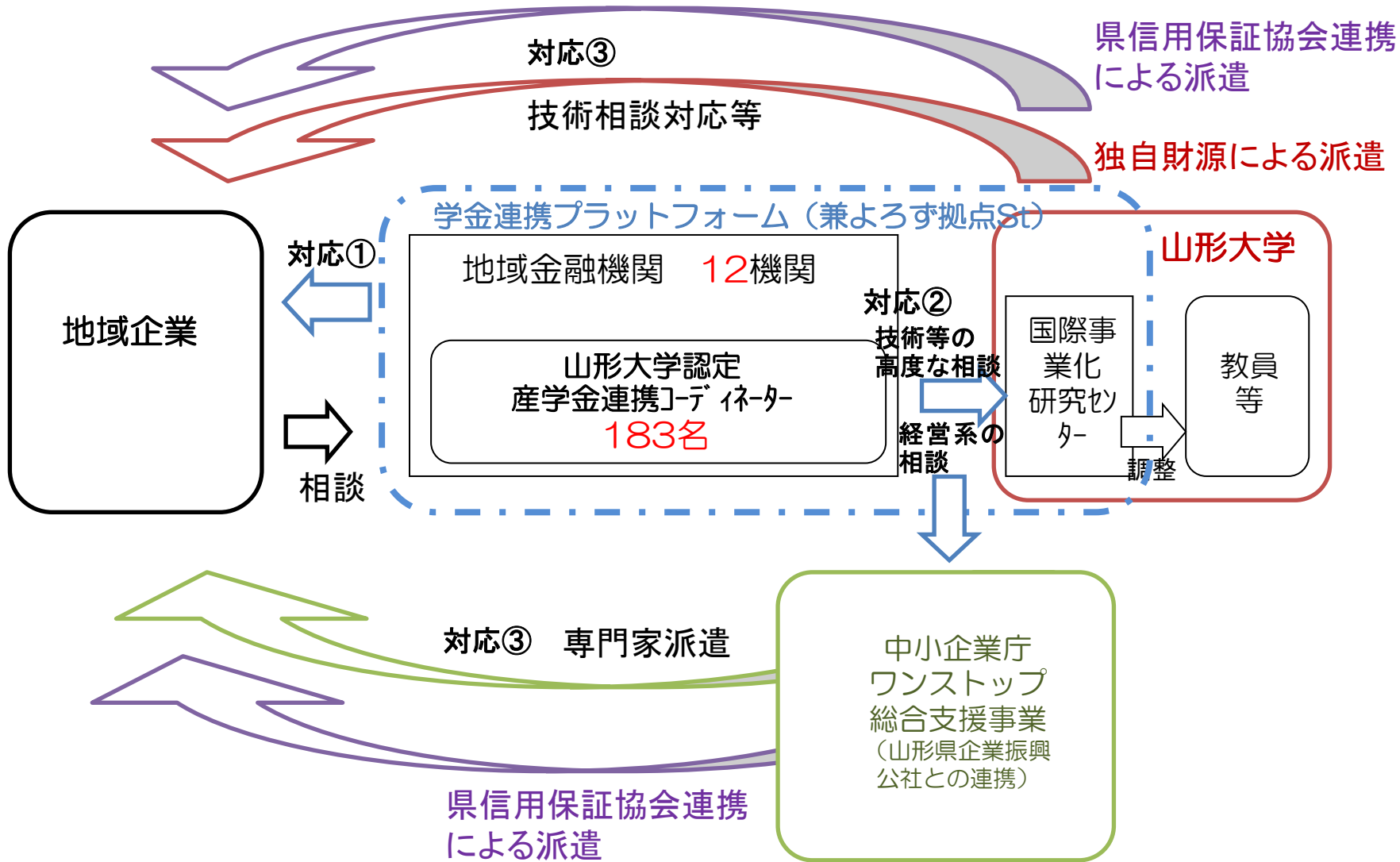
研修1か月後の実践レポート

産学金連携コーディネータ研修受講（県内12機関が参加）

H19～H26の受講者数 **計320名**
H19:57名 H20:23名 H21:56名
H22:40名 H23:21名 H24:17名
H25:43名 H26:63名



産学金連携コーディネーターによる 学金連携プラットフォーム活動の流れ



地方を創生する山形大学「学金連携プラットフォーム」

地域経済の成長エンジン
地域資源を活かしたイノベーションの創出

地域が抱える課題

- ・人口減少下での消滅可能性自治体
- ・少子高齢社会への対応
- ・進学、就職時の若年層の流出
- ・国際競争による量産型産業の疲弊

金融が抱える課題

- ・地域経済そのものの縮小
- ・リスクある有価証券運用等に頼った運営
- ・事業目利き人材の不足

課題を
ブレーク

企業が抱える課題

- ・競争激化と利益の減少
- ・後継者難、事業承継難
- ・経営リソースを活かせる人材の不足

三方よし

- 企業にとって、優秀な人材とイノベーションの獲得
- 金融機関にとって、顧客企業の成長と金融の拡大
- 大学にとって、研究成果の実用化、学生の地域定着

大学が抱える課題

- ・大学の知的シーズの地域での未活用
- ・地域からの入学希望者の減少
- ・卒業生、修了生の地域外の流出

山形県企業振興公社
(よろず拠点)

山形県信用保証協会

連携

目利きスキル

金融機関

企業課題
情報

ソリューション
資金

産学金の
連携

山形大学

地域企業等

人材
技術イノベーション

連携

学金連携プラットフォーム

山形食産業
クラスター
協議会

まだまだ活かされていない地域の資源
自然、食材、技術、伝統、文化、人柄、生き方

平成 27 年 3 月 10 日
山 形 大 学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 「人文学部附属映像文化研究所」主催イベントの開催

知られざるロシア映画上映とトーク アブラム・ローム監督『襲来』とサイレント・アニメ『ベルギーの百合』を開催します。

二つの大戦下、ロシアでは時代がどのように映像化されたのでしょうか。映画黎明期に生きているかのような昆虫の動きで人々を驚かせた鬼オヴワジスワフ・スタレーヴィチの人形アニメと、シクロフスキーやオレーシャらソ連文学の巨匠と協働したアブラム・ローム監督の戦争映画を手がかりに、時代と映画の関わりについて考えてみます。参加無料、申込不要。日本語での通訳があります。

◆日 時：3月20日（金）18：30～21：30

◆場 所：山形大学人文学部1号館207教室(小白川キャンパス)

2. 公開講演会「地上絵とミイラ」を開催

公開講演会『地上絵とミイラ ナスカにおける学術調査と遺跡保護』を開催します。山形大学のチームが取り組んでいる調査により、ナスカの地上絵は2000年以上にわたって作り続けられたことが明らかになりました。最新の理化学的分析が地上絵研究に新たな視点を生み出しつつある一方で、地上絵の破壊は日々進んでおり、その保護と保存が緊急課題となっています。地上絵をめぐる研究の最前線を提示するとともに、その保護活動についてもご紹介していきます。

参加無料、申込不要で定員200名。使用言語は日本語とスペイン語のため、逐次通訳があります。

◆日 時：3月22日（日）13：00～16：30

◆場 所：山形大学 基盤教育2号館(小白川キャンパス)

3. 有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2015を開催

文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構の「革新的イノベーションプログラム (COI STREAM) のトライアル (COI-T) として採択された山形大学の「個人ニーズ未来ものづくりで、健康・感性文化豊かな生活を目指すフロンティア有機システムイノベーション拠点」における、これまでの成果と今後の計画についてご紹介します。

◆日 時：3月13日（金）10：00～12：00

◆場 所：伝国の杜 置賜文化ホール(米沢市丸の内1-2-1)

4. 山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

平成26年度山形大学学位記授与式等を举行します。学長告辞については、当日配布しますので、式終了後に公表願います。各附属学校の卒業・卒園式についてもお知らせしておりますので、資料をご覧ください。円滑な進行にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

◆学位記授与式（地区・日時）：

山形地区・3月25日（水） 10：00開式（山形県体育館）

米沢地区・3月21日（土・祝日） 10：30開式（米沢市営体育館）

鶴岡地区・3月17日（火） 11：00開式（東京第一ホテル鶴岡）

平成27年3月10日
山形大学

「人文学部附属映像文化研究所」主催イベントの開催

昨年6月に設立された人文学部附属映像文化研究所の主催（共催：国際交流基金、神戸大学院国際文化学研究所。協力：フォーラム山形、山形国際ドキュメンタリー映画祭）で、ロシアの著名な映画批評家マクシム・パヴロフ氏を招き、「知られざるロシア映画：上映とトーク」を開催します。

■人文学部映像文化研究所設立について

人文学部では、平成26年6月18日に「ナスカ研究所」に続く人文学部の附属研究所として、「人文学部映像文化研究所」を設立しました。

映像をめぐる知の活性化を目的として、「継承と検証」「連携と協力」「発信と教育」の三点を機軸に研究および教育を行います。

この研究所では、映画・写真などの映像文化に関わる学術研究を広く行い、その成果による積極的な地域社会への寄与を目指します。

■主催イベントについて

昨年12月の松浦寿輝氏講演会に続く本研究所主催イベント第2弾として、映画黎明期の鬼オヴワジスワフ・スタレ-ヴィチ監督の人形アニメ映画『ベルギーの百合』（1915）と、シクロフスキーらソ連文学の巨人の脚本の映像化を手がけた名匠アブラム・ローム監督の戦争映画『襲来』（1944）の無料上映会を行います。上映後、マクシム・パヴロフ氏と本研究所の大久保清朗副所長（人文学部准教授・映画学）とのトークセッションを催します。映画は日本語字幕付き、トークは日本語通訳付きです。

今回の企画は、パヴロフ氏が国際交流基金の招待で来日されるのを機に、東京大学や神戸映画資料館でも行われる企画の一環として実施されるものです。



パヴロフ氏はロシア国立映画博物館で長くナウム・クレイマン館長の右腕として働いていた人で、ペレストロイカの際に開設され、その後地道にソ連映画関連資料のアーカイブ化作業と隠れた名作の掘り起こし上映、エイゼンシュテイン博物館の資料整理および管理などを行ってきました。その業績が認められ、この2月には、クレイマン氏が、ロシア国立映画博物館を代表してベルリン映画祭特別賞を受賞したばかりです。

—昨年までフォーラム山形で「ロシア映画館」シリーズが定期的に上映されていたとはいえ、ロシア（ソ連）映画は日本ではまだまだ知られざる領域です。トークセッションでは、日露両国の気鋭の評論家によって、映画をめぐる丁々発止のやり取りが交わられるでしょう。豊饒な映像世界の一端に触れていただけるまたとない好機です。

聴講料等無料、事前申し込み不要です。

★日時：平成27年3月20日（金）18：30～21：30

★場所：山形大学人文学部1号館 207教室

★お問い合わせ先：山形大学人文学部 中村唯史

電話 023-628-4811/E-mail tadashi@human.kj.yamagata-u.ac.jp

知られざるロシア映画 上映とトーク アブラム・ローム監督『襲来』と サイレント・アニメ『ベルギーの百合』

二つの大戦下、ロシアでは時代がどのように映像化されたのでしょうか。映画黎明期に生きているかのような昆虫の動きで人々を驚かせた鬼オヴワジスワフ・スタレーヴィチの人形アニメと、シクロフスキーやオレーシャらソ連文学の巨匠と協働したアブラム・ローム監督の戦争映画を手がかりに、時代と映画の関わりについて考えてみます。



アブラム・ローム『襲来』 (1944)



スタレーヴィチ『ベルギーの百合』 (1915)



日程 2015年 3月20日 (金)

時間 18時30分～21時30分

会場 山形大学人文学部1号館207教室

日本語通訳付き・入場無料
事前申し込み不要

講師 マクシム・パヴロフ 国際エイゼンシュテイン・センター財団キュレーター
/ ロシア国立映画博物館元副館長

聞き手 大久保 清朗 山形大学人文学部准教授

コーディネーター 楯岡求美 (神戸大学) 通訳 宮原ラーダ (山形大学非常勤講師)

主催 山形大学人文学部附属映像文化研究所

共催 国際交流基金

神戸大学大学院国際文化科学研究科 研究プロジェクト「映像におけるタブーと美の相克」

協力 フォーラム山形 山形国際ドキュメンタリー映画祭

連絡先：中村唯史 (tadashi@human.kj.yamagata-u.ac.jp)

公開
講演会

地上絵とミイラ

ナスカにおける学術調査と遺跡保護

2015年 3月22日(日) 13:00~16:30

会場: 山形大学 (小白川キャンパス) 基盤教育2号館

一般公開 (参加無料 / 申込不要 / 定員200名[先着順]) 使用言語: 日本語・スペイン語 (逐語通訳あり)

山形大学のチームが取り組んでいる調査により、ナスカの地上絵は2000年以上にわたって作り続けられたことが明らかとなった。さらに、最新の理化学的分析は、地上絵研究に新たな視点を生みだしつつある。だが一方で、地上絵の破壊は日々進んでおり、その保護と保存は緊急課題となっている。今回の公開講演会では、地上絵をめぐる研究の最前線を提示するとともに、その保護活動についても紹介したい。



○山形駅東口より東方約2キロ ○山形駅東口より徒歩約25分 ○山形駅東口より県庁前行きバスで約5分 ○南高前(山犬入口)下車10分 ○仙台駅前より山形行き高速バスで約60分(南高前(山犬入口)下車10分) ○山形〜仙台間の高速バスは平日80便、土日・休日66便運行しています。

ごあいさつ

北川忠明

(山形大学)

関雄二

(国立民族学博物館)

プログラム

●13:20~14:05

坂井正人

(山形大学)

「世界遺産ナスカの地上絵に関する学術研究と保護活動」



●14:15~15:35

ミゲル・パンス

(ペルー国立ビジャリアル大学)

「ナスカの学術調査と文化遺産保護」



●15:45~16:30

瀧上 舞

(山形大学 / 日本学術振興会特別研究員)

「ミイラから見る先史アンデス文明の食性」



お問い合わせ先 — 山形大学人文学部事務室 山形市小白川町一丁目4-12 TEL023-628-4203

主催: 山形大学人文学部・新学術領域研究「古代アメリカの比較文明論」計画研究A03「アンデス比較文明論」(研究代表: 坂井正人) 協力: 古代アメリカ学会、文化遺産国際協力コンソーシアム
共催: 国立民族学博物館・科学研究費補助金基盤研究(S)「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」(研究代表: 関雄二) 助成: 国際交流基金

個人ニーズ未来ものづくりで、 健康・感性文化豊かな生活を目指す フロンティア有機システムイノベーション拠点 ～COI(センターオブイノベーション)-T プログラムの成果と今後の計画～

日時

平成27年**3月13日(金)** 10:00~12:00

同日午後 高分子学会主催 有機エレクトロニクス研究会 第4回異業種交流会を開催
※詳細はHPをご覧ください→<http://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=1005>

会場

伝国の杜 置賜文化ホール

〒992-0052 山形県米沢市丸の内一丁目2番1号
TEL 0238-26-8000 FAX 0238-26-2660

参加費

無料



プログラム

司会進行 / 高橋 辰宏 (山形大学 工学部 学部長特別補佐)

10:00~10:05 開会の挨拶

大場 好弘 (山形大学 理事・副学長)

10:05~10:10 来賓挨拶

岸本 康夫 氏 (文部科学省 科学技術・学術政策局 次長)

10:10~10:40 基調講演

三宅 徹 氏 (大日本印刷株式会社)

10:45~11:55 パネルディスカッション

「地域の暮らしを変える!

～未来の心豊かで快適・健康な生活と社会を目指して～

三宅 徹 氏 (大日本印刷株式会社)

加藤 守匡 氏 (山形県立米沢栄養大学 准教授)

城戸 淳二 (山形大学 卓越研究教授)

時任 静士 (山形大学 卓越研究教授)

座長 / 今野 千保 (山形大学 教授 / 国際事業化研究センター センター長)

11:55~12:00 閉会の挨拶

飯塚 博 (山形大学 工学部長)

主催 / 国立大学法人山形大学

後援 / 独立行政法人科学技術振興機構・公益財団法人山形県産業技術振興機構・米沢市

↓こちらからお申込みください

http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form/publicsympo2015_1.php

上記URLからのお申込みが出来ない方は、FAXにてご送信ください。

参加申込書	有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2015			
	会社名	フリガナ	部署 役職	TEL
	氏名	所在地	〒	E-mail

一本人情報の取り扱いについて— ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

お問い合わせ先: 山形大学工学部 有機エレクトロニクス研究センター センター長室

TEL/0238-26-3585 FAX/0238-26-3240 E-mail/organic@yz.yamagata-u.ac.jp

↓携帯からの申込みはこちら



※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成27年3月10日

山形大学

山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

平成26年度山形大学学位記授与式等を挙行政いたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。また、学長告辞については、当日に配布いたしますが式終了後に公表願います。なお、各附属学校の卒業（園）式につきましても、併せてお知らせいたします。

【山形地区】

- 人文学部・地域教育文化学部・理学部・医学部・社会文化システム研究科・地域教育文化研究科・理工学研究科（理学系）・医学系研究科・教育実践研究科・養護教諭特別別科
- 日 時：平成27年3月25日（水）10：00開式
会 場：山形県体育館（山形市）

【米沢地区】

- 工学部・理工学研究科（工学系）
- 日 時：平成27年3月21日（土・祝日）10：30開式
会 場：米沢市営体育館（米沢市）

【鶴岡地区】

- 農学部・農学研究科
- 日 時：平成27年3月17日（火）11：00開式
会 場：東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市）

【附属学校】

- 附属幼稚園
- 日 時：平成27年3月15日（日）10：00開式
会 場：附属幼稚園遊戯室- 附属小学校

日 時：平成27年3月19日（木）9：00開式
会 場：附属小学校体育館- 附属中学校

日 時：平成27年3月16日（月）9：00開式
会 場：附属中学校体育館- 附属特別支援学校

日 時：平成27年3月18日（水）10：00開式
会 場：附属特別支援学校体育館

（お問い合わせ）
総務部総務課
（TEL）023-628-4006